

一 蓮華の事

蓮華とは本因本果なり。此の本因本果と云ふは一念三千なり。本有の因、本有の果なり。今始めたる因果に非ざるなり。五百塵点の法門とは此の事を説かれたり。本因の因と云ふは下種の題目なり。本果の果とは成仏なり。因と云ふは信心領納の事なり。此の経を持ち奉る時を本因とす。其の本因の儘成仏なりと云ふを本果とは云ふなり。日蓮が弟子檀那の肝要は本果より本因を宗とするなり。本因なくしては本果は有るべからず。仍って本因は慧の因にして名字即の位なり。本果は果にして究竟即の位なり。究竟即とは九識本覺の異名なり。九識本法の都とは法華の行者の住処なり。神力品に云はく「若山谷曠野」等と説きて「即是道場」と見えたり。豈法華の行者の住処は生処・得道・転法輪・入涅槃の三世諸仏の四処の道場に非ずや云云。